

モニタリングサイト 1000 高山帯調査

開花フェノロジー[目視]データの概要と利用上の注意点

目 次

I. 利用上の注意点	2
II. データセットの概要	3
III. データの内容と説明	3
IV. 参考文献等	7

I. 利用上の注意点

- 本文書にはモニタリングサイト 1000 高山帯調査のうち、開花フェノロジー[目視]データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が書かれています。データを利用する際は、必ず「本文書」及び「データの利用方法（<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>）」をお読みください。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- モニタリングサイト 1000 については、モニタリングサイト 1000 ウェブサイト（<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>）をご参照ください。
- データを利用する際は、論文、プレゼンテーション等にデータの出典を下記の例のように明示してください。
＜データ出典の明示例＞
「xxx のデータについては、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる（〇〇〇.zip, <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>,よりダウンロード）。」
“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (〇〇〇.zip, downloaded from <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>)”.
- データについてのご質問は、本文書の最後に書かれている「お問合せ先」までご連絡ください。
- ウェブサイトで公開されていないデータをご利用になりたい場合は、環境省自然環境局生物多様性センターまでお問合せください。
- データの体裁及び本文書は、予告なく変更される場合があります。

II. データセットの概要

- ・大雪山サイトで実施された目視による開花フェノロジー調査のデータです。
- ・調査時期は5月下旬～9月下旬頃、数日～1週間程度の間隔で、毎年実施しています。
- ・調査方法の詳細は、高山帯調査マニュアル 開花フェノロジー調査[目視による調査 (<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>)] をご参照ください。
- ・データファイルは、調査プロット毎に分かれています。

III. データの内容と説明

- ・ファイル名
モニタリングサイト 1000 高山帯調査のコード (mot·az) _サイト ID (1) + 調査プロット ID + 調査項目 (flowering-visual) _調査年
- ・それぞれの Excel ファイルは、調査地点や調査者等を入力した「概要シート」と、調査結果を調査年ごとに集計した「集計表」からなっています。
- ・公開することで乱獲等のおそれがあるデータについては、非公開となっています。また、データ取得者が研究論文の発表までは優先的に利用することを希望したデータについては、非公開期間を設定しています。

<開花フェノロジー（目視）データのファイル一覧>

サイト名／プロット名	ファイル名
1a 大雪山／黒岳風衝地	mot·az_1a_flowering-visual_2010-2023
1b 大雪山／黒岳石室	mot·az_1b_flowering-visual_2010-2023
2016 年までは左側と右側に分けて記載	
1c 大雪山／赤岳コマクサ平	mot·az_1c_flowering-visual_2010-2023
種名が保護情報のため、集計表から削除されている種類があります。	
1d 大雪山／赤岳第 4 雪渓	mot·az_1d_flowering-visual_2010-2023
斜面上部と斜面下部に分けて記載	

＜概要シート＞

調査項目：本データファイルの調査項目名（開花フェノロジー調査[目視]）

サイト名：本データが得られたサイトの名称（大雪山）

プロットID：本データが得られたサイト内のプロットのシリアルID(f 開花フェノロジー[目視]共通)

プロット名：本データが得られたサイト内のプロットの名称

現地調査主体：本データの調査を行った調査主体の名称

調査代表者：現地調査主体の代表者氏名

北緯（°）：本データのプロット位置の緯度情報

東経（°）：本データのプロット位置の経度情報

標高（m）：本データのプロット位置の標高情報

位置情報の取得方法：プロット的位置情報を取得した手段

データの保護の必要性：原データを保護する必要性の有無

非公開期間：原データを非公開とする期間

位置情報の保護の必要性：原データの位置情報の保護の必要性の有無

備考：その他特記事項

調査方法：調査範囲を区切っている場合のデータの記載方法など、調査方法に関する説明

開花ステージ：開花ステージの記録に用いた記号の説明

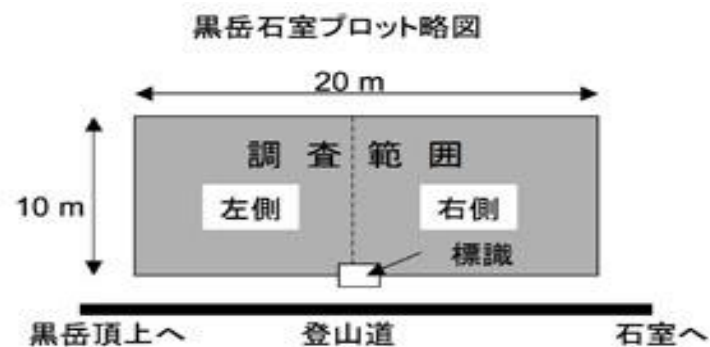
開花量：開花量の記録に用いた数字の説明

プロット略図：調査プロットの配置や区切り方法の説明

例:

項目	記入例
調査項目	開花フェノロジー調査[目視]
サイト名	大雪山
プロットID	4Cf
プロット名	永久方形区(高山荘)
現地調査主体	NPO法人 ○○○○
調査代表者	山田太郎
北緯(°)	36.159607
東経(°)	136.759338
標高(m)	1,450
位置情報の取得方法	GPS を使用
データの保護の必要性	必要性有り。乱獲のおそれのある●○ソウが見られる。
非公開期間	期限無し
位置情報の保護の必要性	必要性有り。乱獲のおそれのある●○ソウが見られる。
備考	

調査方法	調査プロットを左側・右側に分け、それぞれの区画で開花している植物種の開花ステージと開花ピーク時の開花量を記載した。
開花ステージ	Aー咲き始め(つぼみがまだ多く、1～5分咲き)
	Bー満開(つぼみはあまり残っていない)
	Cー開花後期(しおれた花が多く見られる)
	Dー終了(ほとんど開花は終了して、ちらほらと残花が見られる)
開花量	1ー開花している植物はほんの数株程度(注意して探さないと見落とすくらいの少なさ)
	2ー開花植物があちこちに見られる(開花している株は小さく点在している)
	3ー開花植物が群生(開花している株が大きい、あるいは小さな株が多数見られる)



<集計表>

植物種：調査範囲で開花が確認された植物の和名

区画：調査範囲を区切り、それぞれについて開花量や開花ステージを記載している場合の
区画名

開花量：1～3の3段階で示した開花量

日付：現地で調査を行った月日

開花ステージ：それぞれの調査日の植物種ごとの、A～Dの4段階で示した開花ステージ

※植物の種名や開花ステージの記載については、現地の専門家による確認の上、一部修正を行っています。

調査範囲を上部と下部に区切って記載している例：

植物種	区画	開花量	7/15	7/20	7/23	7/30	8/5	8/11	8/17	8/22	8/25	8/28
チングルマ	上部	3			A	A	B	B	C	D	D	
	下部	3		A	A	B	B	C	C	D		
ミヤマキンバイ	上部	3	A	A	B	B	B	B	B	C		
	下部	1	A	B	B	B	B	C	C	D		
ヨツバシオガマ	上部	2					A	A	B	B	C	D
	下部	1						A	B	B	C	C
ハクサンボウフウ	上部	2			A	A	B	B	B	B	B	C
	下部	3			A	B	B	B	B	B	C	D
コマクサ	上部	3	B	B	B	C	C	D	D	D	D	
	下部	3	B	B	C	C	C	C	D	D		D

IV. 参考文献等

モニタリングサイト1000 高山帯調査マニュアル
<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト
<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

作成 2024 年 9 月

お問合せ先（2024 年 9 月現在）

一般財団法人自然環境研究センター
モニタリングサイト 1000 高山帯担当者
〒130-8606
東京都墨田区江東橋 3-3-7
Tel: 03-6659-6310 Fax: 03-6659-6320

環境省自然環境局生物多様性センター
担当：保全科
〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
Tel: 0555-72-6033
E-mail: biodic_webmaster@env.go.jp